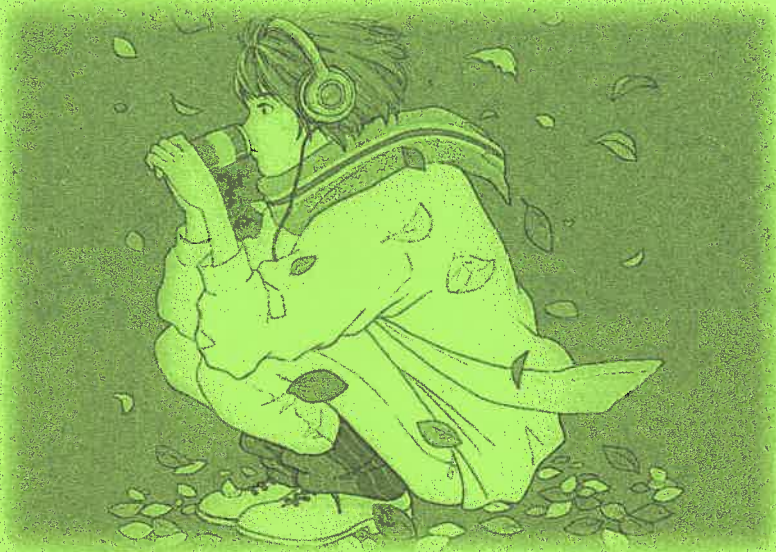


下井草図書館 YA だより Vol.8

10代のYA(ヤングアダルト)世代にお届けします。

# 本の庭

平成31年 | 冬号 |



PICK UP CHARACTERS

『ザ・ランド・オブ・ストーリー』より

今号の特集 中学生のおすすめ本

YA コーナーに新しく入った本を紹介します



360  
ア

## 『大人になったらしたい仕事2 「好き」を仕事にした35人の先輩たち』

朝日中高生新聞編集部／編著 (朝日学生新聞社)

胚培養士、虫の研究者、航空管制官、海外ツアー会社社員…。子どものころの「好き」を仕事に結びつけた35人のインタビューを紹介します。

『朝日中学生ウイークリー』『朝日小学生新聞』連載から選んだ35本をまとめる。

## 『死体が教えてくれたこと』

上野正彦／著 (河出書房新社)

なぜ監察医になったのか、人が死ぬとはどういうことか、自分とは何なのか…。2万体の検死解剖を行った法医学の第一人者が若者に向けた一冊。命の大切さを自身の生涯を振り返りながら説く。

490  
1ウ



ス 189

## 『14歳、明日の時間割』

鈴木るりか／著 (小学館)

中学校を舞台に、時間割に見立てた7編の短編で、現代人の苦悩、笑い、絆、友情、想いを鮮やかに描写する。笑って笑って、ホロッと泣かせる、胸に迫る青春群像。

『さよなら、田中さん』で話題となった中学生作家の、小説第2弾。

## 『SFショートストーリー傑作セレクション 時間篇 人の心はタイムマシン/時の渦』

日下三蔵／編 小松左京他／著 (汐文社)

主に昭和の時代に発表されたSFの名作をテーマ別に紹介。時間篇では、小松左京「御先祖様万歳」、星新一「時の渦」など、時間SFの傑作6篇を収録。日本SFの歴史や著者のプロフィール・代表作なども掲載。

913  
ク



PICK  
UP  
CHARACTERS

物語の登場人物に、興味がわいたり共感したりすると、どんどん先を読みたくなるよね。ここでは、そんな登場人物に光をあてて紹介するよ。気になったら、第1巻を手にとってほしい。

## おとぎ話のその後の世界を 性格真逆の双子の兄妹が駆け巡る！

『ザ・ランド・オブ・ストーリーズ 1・2』 クリス・コルファー／著

田内志文／訳 (平凡社) より

アレックス

コナー

アレックスの双子の兄。青い瞳とストロベリー・ブロンドの持ち主。友だちは多いが、学校では妹といつも比較され苦労している。授業中は居眠りばかりでふざけるのが好き。



『ザ・ランド・オブ・ストーリーズ 1  
願いをかなえる呪文』

コナーの双子の妹。外見はそっくりだが、兄とは違って勉強ができ、先生のお気に入り。そのせいもあり女の子たちから疎まれ学校ではいつも孤独を感じている。まさに本の虫のような少女。

STORY



『ザ・ランド・オブ・ストーリーズ 2  
帰ってきた悪の魔女』  
(全6巻 以下刊行予定)

ある日、双子のアレックスとコナーは、12歳の誕生日におばあちゃんにもらった絵本『ザ・ランド・オブ・ストーリーズ』の中に吸い込まれてしまう。そこはおとぎ話の「いつまでも幸せに暮らしましたとさ。めでたしめでたし」の後の世界だった。双子は元の世界に戻るため、「願いをかなえる呪文」を探す冒険に出る。

シンデレラ、白雪姫、赤ずきん、眠れる森の美女、人魚姫……大好きだった童話の主人公たちに、また会える！

下井草図書館で職場体験をしてくれた中学生たちに聞きました。

おすすめのコメントはここに載せたものも含めてすべて展示してあります。

## アサギをよぶ声

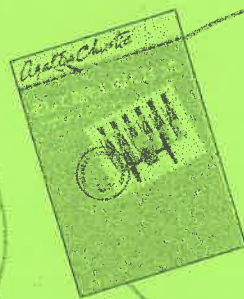
森川成美/著  
スカイエマ/絵 (偕成社)



主人公アサギは、父を亡くし母と2人で暮らしている。アサギの村では、12歳になると女の子は女屋、男の子は男屋に入る。女屋では、結婚のための準備に余念がない。一方、男屋では村を守る戦士に選ばれるため修行に励む。アサギは女だが戦士になる夢を諦められず、ハヤという戦士に教えを請う。

## そして誰もいなくなった

アガサ・クリスティー/著  
青木久恵/訳 (早川書房)



十人の老若男女が孤島に集められた。それから、恐るべき連続殺人事件が始まる。部屋に飾られた童謡の歌詞どおりに一人ずつ死んでいく。島の中をいくら探しても十人の他には誰もいない。犯人はこの中にいるのか。不気味で、読み始めると暗闇が怖くなるので要注意!

## よろず占い処陰陽屋へようこそ

【よろず占い処陰陽屋シリーズ①】  
天野頌子/著 (ポプラ社)



このシリーズは、主人公である妖狐の瞬太が、自身のバイト先である王子稲荷ふもとの商店街にある「陰陽屋」で、様々な依頼を解決すべく、東奔西走するお話です。このシリーズは何作もあるため、長く読み続けられます。瞬太の高校生活や、王子の人々のトラブルなど、たくさんストーリーがあり、面白いです。

## 坊っちゃん

夏目漱石/著  
(岩波少年文庫)

この本は著者の漱石自身が愛媛の松山中学で教師をした実体験を基に描かれた実話です。松山中の教師は個性的です。校長のためぎ校長、赤い物には目がない赤シャツ、変わり者の野だいこ、体のでかい山嵐、顔色の悪いうらなりなど、彼らが繰り広げる騒動がとても面白くてオススメです。

未来少年コナン 読む! 名作アニメ  
アレクサンダー・ケイ/原作  
中野圭一郎/文 (文溪堂)

ある日、浜辺で一人の少女が倒れているのを発見する。その少女ラナは、コナンがおじい以外に初めて見る人間だった。そして、ラナとの出会いにより、コナンの運命は大きく動き始めるのだった…。地球や命の大切さがよくわかる本。

死神うどんカフェ1号店 1杯目  
石川宏千花/著 (講談社)

2年前の夏。川で溺れていた子どもを助けようとして死にかけた高1の希子。学校からの帰り道で「死神うどんカフェ1号店」に出会う。そこは、従業員がほぼ死神という驚くべき店だった。そして、そこには三田亜吉良の2年前の事故で希子を助け、それからずっと眠ったままの姿があった。

※コメントは誤字脱字の修正を除き、中学生の書いてくれたままを載せています。

世界から猫が消えたなら  
川村元気/著 (マガジンハウス)

風邪をこじらせたと思った「僕」は、実は末期の脳腫瘍だった。その「僕」の前に一匹の悪魔が現れた。彼は「僕」の余命を一日だけ延ばしてくれるという。しかし、その代わりに何を世界から消さなければならぬ。はたして「僕」は残された運命から何を消し、どう生きるのか。

AND  
MORE

獣の奏者 上橋菜穂子/著 武本糸会/絵 (講談社青い鳥文庫)

夜のピクニック 恩田陸/著 (新潮社)

ちょっと今から仕事やめてくる 北川恵海/著 (メディアワークス文庫)

モナミは世界を終わらせる? はやみねかおる/著 (角川書店)

もういちど生まれる 朝井リョウ/著 (幻冬舎文庫)

あと少し、もう少し 瀬尾まいこ/著 (新潮社)

樹のことばと石の封印 シンダ!② 富安陽子/著 (偕成社)

ハッピーバースデー 青木和雄・吉富多美/著 (金の星社)

戦国姫 シリーズ 藤咲あゆな/著 マルイノ/絵 (集英社みらい文庫)

IQ 探偵ムー シリーズ 深沢美潮/著 山田J太/画 (ジャイブ)

サーティナイン・クルーズ シリーズ 小浜香/訳 HACCAN/イラスト (メディアファクトリー)

マンゴーのいた場所 ウェンディ・マス/著 金原瑞人/訳 (金の星社)

ふたりは世界一! アンドレス・バルバ/著 宇野和美/訳 おくやまゆか/絵 (偕成社)

本当は怖い殺人生物ファイル クリエイティブ・スイート/著 (宝島社)

# BOOKMARK

様々なジャンルから  
オススメの本を紹介!



安藤百福 即席めん で食に革命をもたらした発明家  
【伝記】  
筑摩書房編集部／著  
筑摩書房

## 安藤百福四十七歳、がけぶちでのミラクル!

世界初のインスタントめん「チキンラーメン」を開発した日清食品の創業者・安藤百福。47歳で全財産を失ったあとの再出発で世界の食文化に革新を起こした彼の人生をたどる。各章末に語録コラムがあり、百福の考え方と実践が関連づけられている。



時間ってなに? 流れるのは時? それともわたしたち?  
【哲学】  
クリストフ・ブトン／著  
ジョシエン・ギャルネール／絵  
伏見操／訳  
岩崎書店

## 時は謎に満ち、その正体は、本当はつかみにくい。

これまで偉大な哲学者や物理学者たちが、「時間とは何か」という疑問に挑んだけれど、誰も完璧な答えを見つけれなかった。「時間」という、謎に満ちたパズルについて考える。

## 紙上掛け合い漫才のようだが、中身はまじめ

社会や世の中の情報をおもしろく見るためのいろいろのヒントや方法を考える。謎の日系イタリア人のパオロさんと、成績優秀でまじめな愛美、エロとシモンネタで頭がいっぱいの留吉の二人の中学生が冗談を言い合いながら「反」社会学を学ぶというもの。



13歳からの反社会学  
【社会学】  
パオロ・マツァリーノ／著  
角川書店

## 英語の学習は趣味にしまおう! たのしみながら英語力が身につく。

好きな本を英語で読む。その過程を十分に楽しむのが上達のコツ! 英文小説の基本常識、日本人にとってわかりにくい英語、ジャンル別小説の読み方など、英語多読法を紹介。生きていくうちにぜひ読みたい英語の小説のリストも掲載。

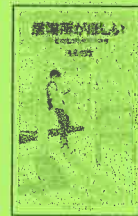


楽しく習得! 英語多読法  
【英語】  
クリストファー・ベルトン／著  
渡辺順子／訳  
筑摩書房

# 岩波ジュニア新書 の本棚より



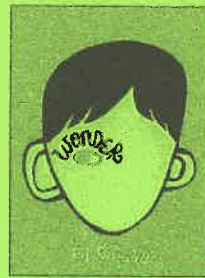
『中高生のための「かたづけ」の本』 杉田明子・佐藤剛史/著  
何がどこにあるかわからない、いつもモノ探しから始まる…そんな毎日をなんとかしたい君へ贈る。かたづけ力アップのための一冊。すべて出す→分ける→選ぶ→収める、の順にやってみよう! 四つのステップをやりきったある日、かたづけ力だけでなく、よりよく生きる知恵と力を身につけた自分にも気づくはず!



『居場所がほしい 不登校生だったボクの今』 浅見直輝/著  
中学時代に不登校・引きこもりを経験。ネットゲームに熱中する昼夜逆転の生活から一念発起して、高校、大学へ進学。その経験から、現在は、生き辛さを抱える当事者と親たちに寄り添う活動やプロジェクトを展開中。ネガティブに語られがちな「不登校」を人生のチャンスと考え生きる著者が語る今、そして未来の夢。

## 図書館員からのおすすめ Librarians' Recommended

様々な問題や現実を克服する、オーガストの姿が教えてくれる世界の真実とは?



930  
ハ

『ワンダー』  
R. J. パラシオ/著  
中井はるの/訳  
(ほろぶ出版)

オーガストはふつうの男の子。ただし、顔以外は。生まれつき顔に障害がある彼は、はじめて学校に通うことになった。だが生徒たちはオーガストの顔を見て悲鳴をあげ、じろじろながめ、やがて避けるようになる。一方で、彼の話をおもしろいと感じる同級生は少しずつ増えていた。

物語は主人公のオーガストだけではなく、同級生や姉など多数の視点から、それぞれの立場や感じ方がリアリティを持って語られる。読者はその中の誰かに共感し、想いを感じ取り、自分の中の何かを変えていく。読者の心を強く揺さぶる、言葉と物語の力を感じる傑作。

本の庭 特別版

ブック リスト

# 2018-19 Book List

発行しました



「読書にふける至福を君に届けたい…」

そんな思いで選んだ、30冊の本をテーマごとに紹介しました。

YAコーナーおよび各カウンターにて配布しています。ぜひ、手に取ってください。

季刊 YA だより「本の庭」

4・7・10・1月発行

---

杉並区立下井草図書館  
杉並区下井草 3-26-5  
電話：03-3396-7999